

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



「富士乃湯は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています」

SDGs(持続可能な開発目標)とは、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない(leave no one behind)」ことを誓っています。私たちは「みんなつながっている」という感覚を大切に、どれか個別の目標にそれぞれアプローチするのではなく、ひとつひとつの取り組みはささやかでも、私たちの地球にとって大切な1歩であると考えて取り組んでおります。

「できる限り地元の食材を利用しています」



長野県には、畜産、農産、川や湖の水産等、多くの食材がございます。地元の製品を使う事により畜産業、農業、漁業などを守るとともに、輸送にかかる環境負荷の削減につながります。

「フードロス削減に取り組めます」



当館では、適量のお料理を提供するよう心掛けています。そして、不揃いの野菜でも品質が良ければ利用します。お料理の最後にご飯等をご用意しておりますが、少量でいい場合はお声がけ下さい。

「節電、節水に力をいれます」



照明器具をLEDに入れ替えたり、冷暖房機器を順次節電型に入れ替えています。2023年には厨房の業務用冷凍冷蔵庫や大浴場で利用する給湯器を節電型に入れ替えました。大浴場や貸切風呂のご利用の際にも節水、節電にご協力下さいませ。また温泉街にお散歩に行かれる時など、長時間お部屋を離れられる際にはお部屋の照明や冷暖房のスイッチをお切りになるなどご協力をお願いいたします。

「環境に配慮します」



館内で使用するものは、お客さまにご利用いただく物も含め、できる限り環境に配慮した製品を選択するよう努めます。

「まつもとエコ旅宣言」



「ワンウェイプラスチックに頼らない持続可能な観光地」を目指し、令和4年11月14日、松本市内ホテル旅館組合連合会、(一社)松本市アルプス山岳郷と松本市が共同で「まつもとエコ旅宣言」を行いました。

- 1 アメニティの提供方法を工夫し、プラスチックごみの排出を最小限にします。
- 2 アメニティは、使い捨てのものから環境に配慮したものに切り替えます。
- 3 観光客に対し、プラスチックごみを出さない旅行への協力を呼びかけます。
- 4 施設を挙げてプラスチックごみ削減に積極的に取り組みます。
- 5 松本市は、機運の醸成や啓発を行い、宿泊事業者の取組みを支援します。

当館でも地域と一緒に推進していきます。

お泊まりいただく際にはご不自由の無いよう、環境に配慮したアメニティはご用意しておりますが、髭剃りや歯ブラシは出来ればご持参いただいたり、ご使用になられたブラシもお持ち帰りいただき、再度ご使用くださればうれしく思います。